

## <デジタルプレス特別調査報告書>

# 助成金制度の拡充により注目が高まる 高度生殖補助医療(ART)の現状と将来性

2020年6月

**株式会社富士経済**

大阪マーケティング本部

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-3-11  
淀屋橋フレックスタワー

TEL : 06-6228-2020

FAX : 06-6228-2030

監修者:常務取締役本部長 谷口 正

## 調査概要

### 1. 調査テーマ

## 助成金制度の拡充により注目が高まる高度生殖補助医療(ART)の現状と将来性

### 2. 企画の背景と目的

- 厚生労働省「人口動態統計」によると、日本国内の出生児数は2010年から微減傾向で推移している。一方、日本産婦人科学会が発表しているARTデータによると、高度生殖補助医療(ART)による不妊治療や、ARTによる出生児件数については増加傾向である。不妊治療の普及に伴って、ARTで使用する消耗品や機器/システム、サプリメントや医薬品などの市場も拡大傾向にある他、ART向け製品を上市する動きも活発化している。
- そのため、当該調査では、今後の市場規模拡大が期待されるART関連の消耗品や装置/システム関連の市場動向について分析する事を目的に調査を実施した。

### 3. 調査対象

調査対象品目	調査対象企業
1.試薬類（培養液、凍結保存液）	富士フイルム和光純薬、アステック、オリジオ・ジャパン、北里コーポレーション、ナカメディカル、扶桑薬品工業、メディカルトップス など
2.ディッシュ	コーニングインターナショナル、サーモフィッシャーサイエンティフィック、大日本印刷、ナカメディカル など
3.観察装置	エア・ブラウン、オリンパス、カールツァイス、SCREENホールディングス、ナカメディカル、ニコン など
4.凍結保存用製品	クライオワン、サーモフィッシャーサイエンティフィック、ストレックス、チャート・インダストリーズ、ワージントン・インダストリーズ など

### 4. 調査方法

訪問及び電話取材、富士経済データベース、オープン情報を活用した調査・分析を実施

### 5. 調査期間

2020年6月

### 6. 調査実施機関

株式会社 富士経済 大阪マーケティング本部

# 目次

	P.
<b>I.総括・分析編</b>	
1.高度生殖補助医療(ART : Assisted Reproductive Technology)関連市場の概況	1
2.ART主要提供医療機関一覧	2
3.ART患者数と市場規模推移	6
4.調査対象品目別市場規模推移	8
5.ART関連の研究・開発推進状況	9
6.ART関連の法規制・ガイドライン	11
7.特定不妊治療費用の助成動向	13
8.地方自治体独自の不妊治療助成金支給状況	14
9.今後の市場将来性	26
<b>II.個別品目編</b>	
1.試薬市場	27
2.シャーレ市場	32
3.観察装置市場	35
4.凍結保存用製品市場	39

## ■ 個別品目編調査項目

- 1.市場定義
- 2.市場規模推移（2017～2019年実績、2020年見込、2021～2022年予測、2025年予測）
- 3.メーカーシェア（2019年実績、2020年見込）
- 4.製品技術トレンド
- 5.市場の将来性

# I .総括・分析編

## 1.高度生殖補助医療(ART : Assisted Reproductive Technology)関連市場の概況

## 画像



- 
- ART周辺市場としては、受精や胚移植、凍結保存を行う際に必要な試薬、シャーレ、観察装置、凍結保存用製品を対象としている。
-

## 2.ART主要提供医療機関一覧

No.	病院名	住所	内容		
			概要	人工授精	体外受精 IVF
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					

## 2.ART主要提供医療機関一覧

No.	病院名	住所	内容		
			概要	人工授精	体外受精 IVF
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					
46					
47					
48					
49					
50					
51					
52					
53					
54					
55					
56					
57					
58					

## 2.ART主要提供医療機関一覧

No.	病院名	住所	内容		
			概要	人工授精	体外受精 IVF
58					
59					
60					
61					
62					
63					
64					
65					
66					
67					
68					
69					
70					
71					
72					
73					
74					
75					
76					
77					
78					
79					
80					
81					
82					
83					
84					
85					
86					



## 2.ART主要提供医療機関一覧

No.	病院名	住所	概要	内容		
				人工授精	体外受精 IVF	顕微授精 ICSI
87						
88						
89						

➤

➤

## 3.ART患者数と市場規模推移

単位：人、百万円

摘要/年次	実績			見込 2020年	予測		
	2017年	2018年	2019年		2021年	2022年	2025年
ART患者数							
年平均成長率							
ART市場規模							
年平均成長率							

(人)

(百万円)



- 当該項目のART患者数については、1年間に体外受精や顕微授精、凍結/融解胚(卵)移植を行った患者を対象としており、1名の患者が1年間に複数回治療したとしても1名として算出している。
- ART市場規模については、採卵や受精、凍結融解胚(卵)移植の費用を基に算出しており、各種検査や卵子・精子の保管サービスの費用は含んでいない。
-

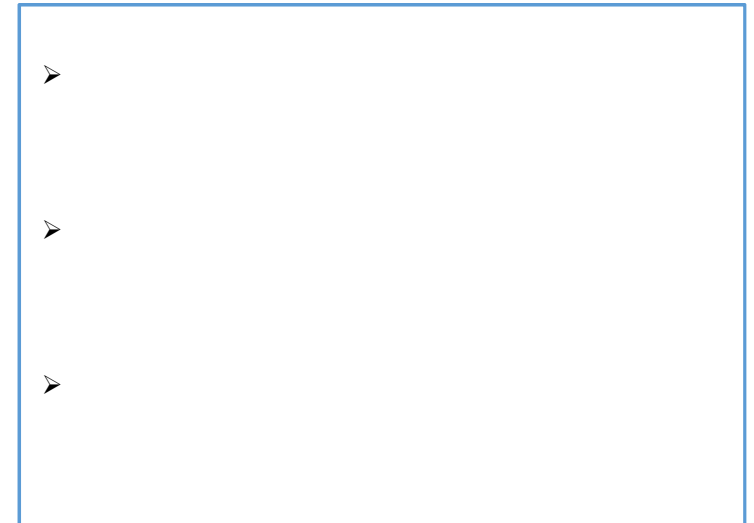
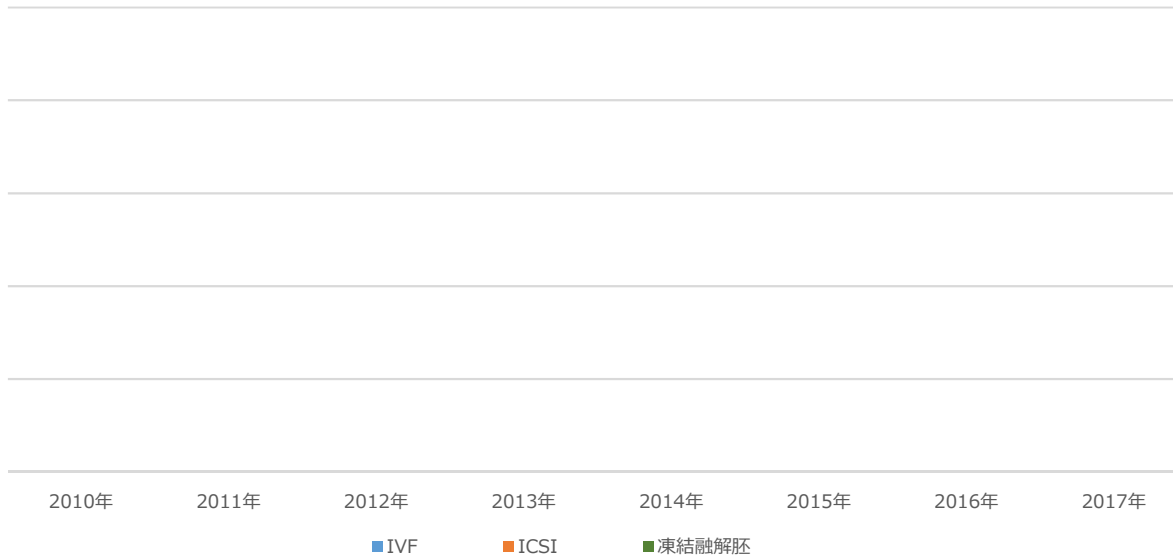
3.ART患者数と市場規模推移

■参考（ART出生児数）

単位：人

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
IVF(GIFT、その他含む)								
前年比								
ICSI(SPLIT含む)								
前年比								
凍結融解胚(卵)								
前年比								
合計								
前年比								

(人)

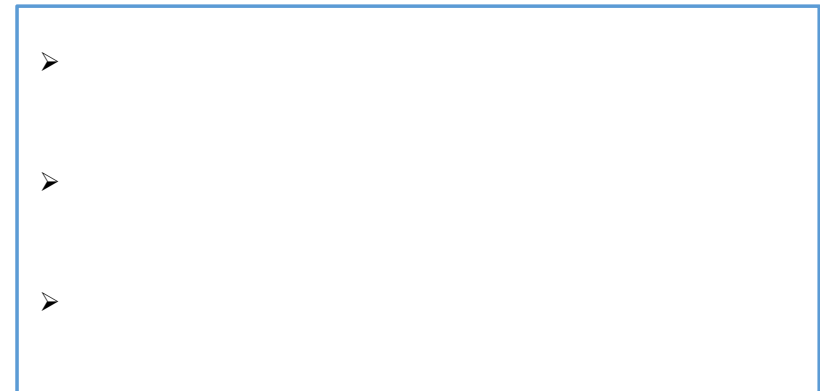


4.調査対象品目別市場規模推移

単位：百万円

摘要/年次	実績			見込	予測		
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2025年
試薬							
年平均成長率							
シャーレ							
年平均成長率							
観察装置							
年平均成長率							
凍結保存用製品							
年平均成長率							
合計							
年平均成長率							

(百万円)



## 5.ART関連の研究・開発推進状況

## ■治療技術研究・開発状況

大学・医療機関名	研究・開発内容
	・
	・
	・
	・
	・
	・
	・

## ■不妊治療向け製品技術研究・開発状況

大学・医療機関・企業名	研究・開発内容
	・
	・
	・
	・
	・
	・

5.ART関連の研究・開発推進状況

■最新治療技術

技術名	研究・開発内容
	. . .

- 
- 
-

## 6.ART関連の法規制・ガイドライン

制定年	ガイドライン名称	制定機関	内容
			.
			. . .
			. . . .
			. . .
			. .

6.ART関連の法規制・ガイドライン

制定年	ガイドライン名称	制定機関	内容
			<ul style="list-style-type: none"> <li>•</li> <li>•</li> <li>•</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>•</li> <li>•</li> <li>•</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>•</li> <li>•</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>•</li> </ul>

➤

➤



7.特定不妊治療費用の助成動向

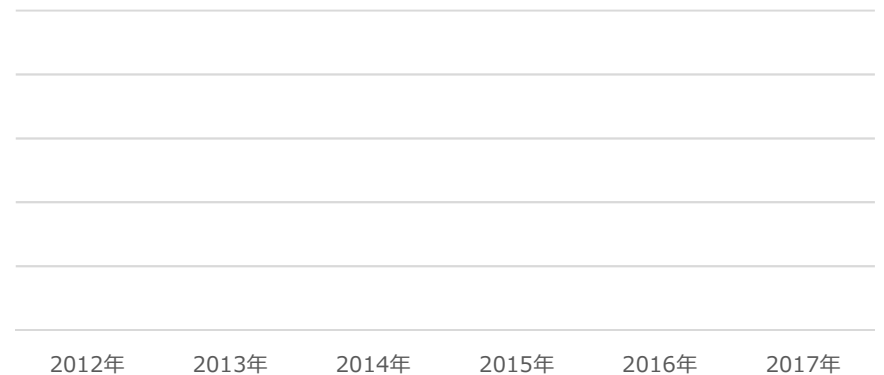
■助成事業内容

助成内容	・		
助成開始年と変更点	・ ・ ・ ・		
対象者	・ ・		
所得制限	・	対象となる治療法	・
対象年齢※	・	年間助成回数※	・
通算助成回数	・		通算助成期間※
指定医療機関	・		・
給付内容助成限度額	① ② ③ ④		

■助成実績

摘要/年次	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
助成件数						
前年比						

(件)



## 8.地方自治体独自の不妊治療助成金支給状況

▶ 本項では、地方自治体の不妊治療助成金支給状況として、東京及び政令指定都市の他に、不妊治療の助成事業に力を入れている地方自治体の助成金内容についても取りまとめている。

## ■主要自治体の助成金動向

No.	1	自治体名	助成対象治療
助成額	・ ・ ・		
助成回数	・ ・		
助成対象者	・ ・ ・		
No.	2	自治体名	助成対象治療
助成額	・ ・		
助成回数	・		
助成対象者	・ ・ ・ ・ ・		

## 8.地方自治体独自の不妊治療助成金支給状況

No.	3	自治体名	助成対象治療
助成額	・ ・ ・ ・		
助成回数	・ ・		
助成対象者	・ ・ ・		
No.	4	自治体名	助成対象治療
助成額	【            】 ・ ・ ・ ・ ・ 【            】 ・ ・ ・		
助成回数	・ ・		
助成対象者	・ ・		

## 8.地方自治体独自の不妊治療助成金支給状況

No.	5	自治体名	助成対象治療
助成額		・ ・ ・ ・ ・	
助成回数		・	
助成対象者		・ ・ ・	
No.	6	自治体名	助成対象治療
助成額		【            】 ・ ・ ・ ・ 【            】 ・ ・ ・ ・	
助成回数		・	
助成対象者		・ ・ ・	

## 8.地方自治体独自の不妊治療助成金支給状況

No.	7	自治体名		助成対象治療	
助成額		・			
		・			
		・			
助成回数		・			
助成対象者		・			
		・			
No.	8	自治体名		助成対象治療	
助成額		・			
		・			
		・			
助成回数		・			
		・			
助成対象者		・			
		・			
		・			
No.	9	自治体名		助成対象治療	
助成額		・			
		・			
		・			
助成回数		・			
		・			
助成対象者		・			
		・			
		・			

## 8.地方自治体独自の不妊治療助成金支給状況

No.	10	自治体名	助成対象治療
助成額		・ ・ ・ ・	
助成回数		・ ・	
助成対象者		・ ・ ・	
No.	11	自治体名	助成対象治療
助成額		・ ・ ・ ・	
助成回数		・ ・	
助成対象者		・ ・ ・	

## 8.地方自治体独自の不妊治療助成金支給状況

No.	12	自治体名	助成対象治療
助成額		・ ・ ・ ・	
助成回数		・ ・	
助成対象者		・ ・ ・	
No.	13	自治体名	助成対象治療
助成額		・ ・ ・	
助成回数		・ ・	
助成対象者		・ ・	

## 8.地方自治体独自の不妊治療助成金支給状況

No.	14	自治体名	助成対象治療
助成額		・ ・ ・ ・	
助成回数		・ ・	
助成対象者		・ ・ ・	
No.	15	自治体名	助成対象治療
助成額		・ ・ ・ ・	
助成回数		・ ・	
助成対象者		・ ・ ・	



## 8.地方自治体独自の不妊治療助成金支給状況

No.	16	自治体名	助成対象治療
助成額		・ ・ ・ ・	
助成回数		・	
助成対象者		・ ・ ・	
No.	17	自治体名	助成対象治療
助成額		・ ・ ・ ・	
助成回数		・ ・	
助成対象者		・ ・ ・	

8.地方自治体独自の不妊治療助成金支給状況

No.	18	自治体名	助成対象治療
助成額	【 ・ ・ ・ 】	【 ・ ・ ・ 】	
助成回数	・ ・		
助成対象者	・ ・ ・		
No.	19	自治体名	助成対象治療
助成額	・ ・ ・ ・		
助成回数	・ ・		
助成対象者	・ ・ ・		

## 8.地方自治体独自の不妊治療助成金支給状況

No.	20	自治体名	助成対象治療
助成額		・ ・ ・ ・	
助成回数		・ ・	
助成対象者		・ ・ ・	
No.	21	自治体名	助成対象治療
助成額		・ ・ ・ ・	
助成回数		・ ・	
助成対象者		・ ・ ・	

## 8.地方自治体独自の不妊治療助成金支給状況

No.	22	自治体名		助成対象治療	
助成額		・			
		・			
		・			
		・			
助成回数		・			
助成対象者		・			
		・			
		・			
No.	23	自治体名		助成対象治療	
助成額		・			
		・			
		・			
		・			
助成回数		・			
		・			
助成対象者		・			
		・			
		・			
No.	24	自治体名		助成対象治療	
助成額		・			
		・			
		・			
		・			
助成回数		・			
		・			
助成対象者		・			
		・			
		・			

## 8.地方自治体独自の不妊治療助成金支給状況

No.	25	自治体名	助成対象治療
助成額		・ ・ ・ ・	
助成回数		・ ・	
助成対象者		・ ・	

9.今後の市場将来性

(百万円)

【ART市場の将来性】

---



---



---



---



---



---

2020年	2021年	2022年	2025年	2030年
見込		予測		

(百万円)

【ART周辺市場の将来性】

---



---



---



---



---



---

2020年	2021年	2022年	2025年	2030年
見込		予測		

Breakthrough要因

---



---

成長要因

---



---



---

阻害要因 / 懸念材料

---



---



---

- 
- 
- 
-

## II. 個別品目編

## Ⅱ-1. 試薬市場



1. 市場定義

- 本項では、試薬市場として、ART治療で使用する培養液と体外操作用培地、調整用培地、卵子や精子などを凍結する際に使用する凍結保存液/融解液を対象としている。
- 培養液市場では初期胚から胚盤胞の培養、胚移植時に使用する製品を、体外操作用培地市場では採卵や洗浄、前培養、受精・媒精で使用する製品を、精子調整用培地市場では精子の分離や洗浄などで使用する製品を対象としている。尚、受精卵の培養時に使用する製品では、培地交換が必要なsequential培地と、培地交換が不要なOne-Step型培地がある。
- 凍結保存液では未受精卵や胚(受精卵)、精子を凍結するための製品を、融解液では凍結した卵子などを解凍する際に使用する製品を対象としている。尚、容器等がセットになっているキット類については対象外としている。

2. 市場規模推移 (2017~2019年実績、2020年見込、2021~2022年予測、2025年予測)

単位：百万円

摘要/年次	実績			見込	予測		
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2025年
金額ベース							
年平均成長率							

(百万円)

➤

➤

2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2025年
	実績		見込		予測	

—●— 金額ベース

3. メーカーシェア（2019年実績、2020年見込）

① 試薬全体

■ 金額ベース

単位：百万円

企業名/年次	2019年 (実績)	シェア	2020年 (見込)	シェア
北里コーポレーション				
オリジオ・ジャパン				
富士フイルム和光純薬				
Vitrolife				
ナカメディカル				
その他				
合計				

【試薬全体市場企業シェア（金額ベース）】



② 培養液

■ 金額ベース

単位：百万円

企業名/年次	2019年 (実績)	シェア	2020年 (見込)	シェア
オリジオ・ジャパン				
北里コーポレーション				
富士フイルム和光純薬				
Vitrolife				
ナカメディカル				
その他				
合計				

【培養液市場企業シェア（金額ベース）】



➤

➤

3. メーカーシェア（2019年実績、2020年見込）

③ 体外操作作用培地

■ 金額ベース

単位：百万円

企業名/年次	2019年 (実績)	シェア	2020年 (見込)	シェア
オリジオ・ジャパン				
北里コーポレーション				
富士フイルム和光純薬				
Vitrolife				
ナカメディカル				
その他				
合計				

【体外操作作用培地市場企業シェア（金額ベース）】



④ 調整用培地

■ 金額ベース

単位：百万円

企業名/年次	2019年 (実績)	シェア	2020年 (見込)	シェア
富士フイルム和光純薬				
オリジオ・ジャパン				
その他				
合計				

【調整用培地市場企業シェア（金額ベース）】



➤

➤

3. メーカーシェア（2019年実績、2020年見込）

⑤ 凍結保存/融解液

■ 金額ベース

単位：百万円

企業名/年次	2019年 (実績)	シェア	2020年 (見込)	シェア
北里コーポレーション リプロライフ 富士フイルム和光純薬				
その他				
合計				

【凍結保存/融解液市場企業シェア（金額ベース）】



➤

➤

➤

4. 製品技術トレンド

現状の課題	キーワード	概要
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>

5. 市場の将来性

(百万円)


成長要因

阻害要因 / 懸念材料

2019年実績      2020年見込      2021年予測      2022年予測      2025年予測      2030年予測

<ul style="list-style-type: none"> <li>➤</li> <li>➤</li> <li>➤</li> </ul>	Content area for future market outlook
---	--

## Ⅱ-2. シャーレ市場

1.市場定義

- ▶ 本項では、体外受精の際に精子と卵子を培養するために使用したり、顕微授精時に使用したりするシャーレを対象としている。
- ▶ なお、クリニックによっては再生医療などで使用されている細胞培養用シャーレを使用するケースもあるが、当該市場では対象外としている。
- ▶

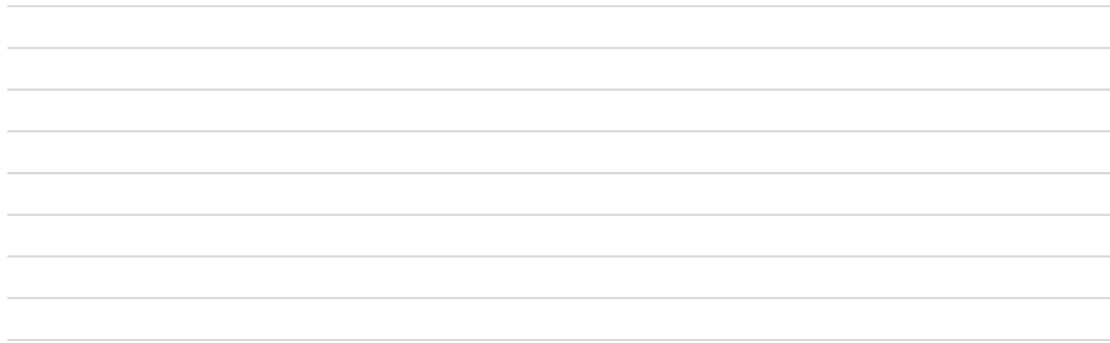
2.市場規模推移（2017～2019年実績、2020年見込、2021～2022年予測、2025年予測）

単位：千枚、百万円

摘要/年次	実績			見込	予測		
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2025年
数量ベース							
前年比							
金額ベース							
前年比							

(千枚)

(百万円)



- ▶
- ▶
- ▶

2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2025年
	実績		見込		予測	

■ 数量ベース    ● 金額ベース

3.メーカーシェア（2019年実績、2020年見込）

■数量ベース

単位：千枚

企業名/年次	2019年 (実績)	シェア	2020年 (見込)	シェア
大日本印刷				
コーニングインターナショナル				
オリジオ・ジャパン				
MatTek/フェニックスサイエンス				
その他				
合計				

■金額ベース

単位：百万円

企業名/年次	2019年 (実績)	シェア	2020年 (見込)	シェア
大日本印刷				
コーニングインターナショナル				
オリジオ・ジャパン				
MatTek/フェニックスサイエンス				
その他				
合計				

【シェア市場企業シェア（2019年数量ベース）】



【シェア市場企業シェア（2019年金額ベース）】



➤

➤

➤



4.製品技術トレンド

現状の課題	キーワード	概要
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>

5.市場の将来性

(百万円)

2019年実績	2020年見込	2021年予測	2022年予測	2025年予測	2030年予測

<b>成長要因</b>
<b>阻害要因 / 懸念材料</b>

- 
- 
-

## II-3. 觀察装置市場

1.市場定義

- 本項では、不妊治療用途で使用される顕微鏡やイメージングシステム、タイムラプスイメージングシステムを観察装置と定義し、市場規模を算出している。
- 顕微鏡は、極細のガラス管に精子を1個吸引し、卵の細胞質内に注入する顕微授精目的で主に使用されており、ART治療の主要製品である。タイムラプスイメージングシステムは、受精卵を一定時間ごとに撮影し、モニターで動画のように観察できる装置である。なお、タイムラプスイメージングシステムではインキュベータ機能が搭載されている製品も当該市場の対象としている。但し、ヒト以外の受精卵を観察する研究用途向けの製品については対象外としている。
- 当該市場に於ける金額ベースでの市場規模については、製品本体と製品購入時に付帯しているレンズやカメラ、ソフトウェアなどのオプションも併せて算出しているが、本体購入後の追加購入分については金額ベースでの市場規模の対象外となっている。

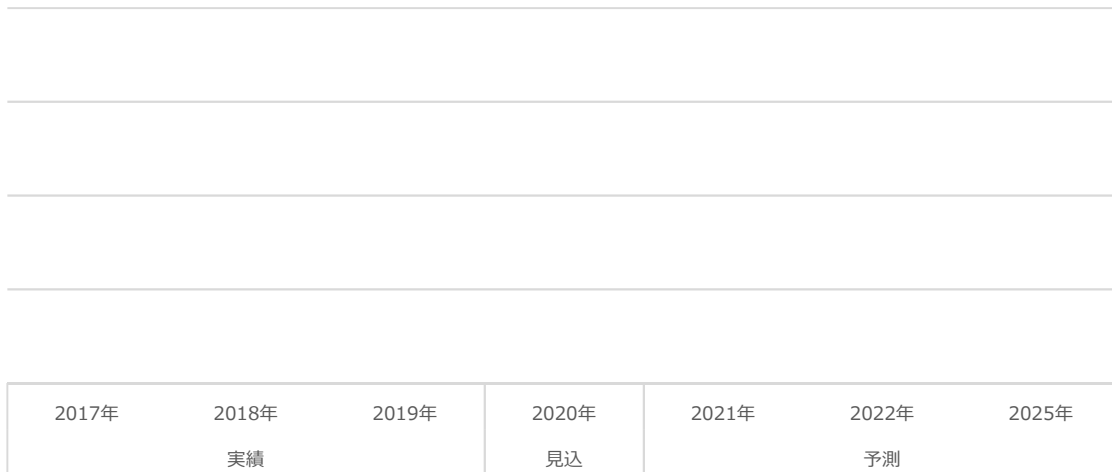
2.市場規模推移（2017～2019年実績、2020年見込、2021～2022年予測、2025年予測）

単位：台、百万円

摘要/年次	実績			見込	予測		
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2025年
数量ベース							
年平均成長率							
金額ベース							
年平均成長率							

(台)

(百万円)



■ 数量ベース    ● 金額ベース

- 
- 
-

3.メーカーシェア（2019年実績、2020年見込）

①顕微鏡/イメージングシステム

■数量ベース

単位：台

企業名/年次	2019年 (実績)	シェア	2020年 (見込)	シェア
オリンパス				
ニコン/ニコンインステック				
Hamilton Thorne/エア・ブラウン				
SCREENホールディングス				
その他				
合計				

■金額ベース

単位：百万円

企業名/年次	2019年 (実績)	シェア	2020年 (見込)	シェア
オリンパス				
ニコン/ニコンインステック				
SCREENホールディングス				
Hamilton Thorne/エア・ブラウン				
その他				
合計				

【顕微鏡/イメージングシステム市場企業シェア（数量ベース）】



【顕微鏡/イメージングシステム市場企業シェア（金額ベース）】



➤

➤

3.メーカーシェア（2019年実績、2020年見込）

②タイムラプスイメージングシステム

■数量ベース

単位：台

企業名/年次	2019年 (実績)	シェア	2020年 (見込)	シェア
ヴィトロライフ(Vitrolife)				
アステック				
その他				
合計				

■金額ベース

単位：百万円

企業名/年次	2019年 (実績)	シェア	2020年 (見込)	シェア
ヴィトロライフ(Vitrolife)				
アステック				
その他				
合計				

【タイムラプスイメージングシステム市場企業シェア（数量ベース）】



【タイムラプスイメージングシステム市場企業シェア（金額ベース）】



- 
- 
- 
- 
-

4.製品技術トレンド

現状の課題	キーワード	概要
		<ul style="list-style-type: none"> <li>•</li> <li>•</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>•</li> <li>•</li> </ul>

5.市場の将来性

(百万円)

2019年実績	2020年見込	2021年予測	2022年予測	2025年予測	2030年予測

成長要因

阻害要因 / 懸念材料

- 
- 
-

## Ⅱ-4.凍結保存用製品市場





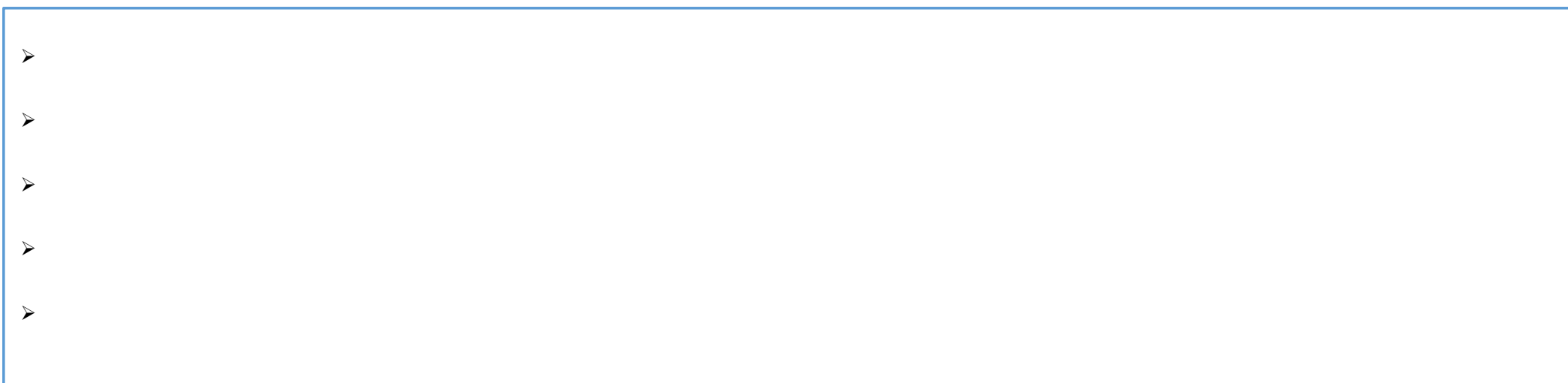
3.メーカーシェア（2019年実績、2020年見込）

■金額ベース

単位：百万円

企業名/年次	2019年 (実績)	シェア	2020年 (見込)	シェア
マイクロニクス				
クライオワン				
Chart Industries				
サーモフィッシャーサイエンティフィック				
Worthington Industries				
その他				
合計				

【凍結保存容器市場企業シェア（2019年金額ベース）】



4.製品技術トレンド

現状の課題	キーワード	概要
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>

5.市場の将来性

(百万円)

2019年実績	2020年見込	2021年予測	2022年予測	2025年予測	2030年予測

<b>成長要因</b>
<b>阻害要因 / 懸念材料</b>

- 
- 
-

## 助成金制度の拡充により注目が高まる高度生殖補助医療(ART)の現状と将来性

---

発行日 2020年6月29日  
調査・編集 大阪マーケティング本部 第一部  
PDF版 300,000円+税  
\*書籍版はございません。

発行人 清口 正夫  
発行所 株式会社 富士経済  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO 日本橋江戸通  
URL : <https://www.fuji-keizai.co.jp> / E-mail : [info@fuji-keizai.co.jp](mailto:info@fuji-keizai.co.jp)  
業務コード 142005755

---

東京マーケティング本部 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町19-5 akebono日本橋ビル  
TEL:03-3664-5821(代) FAX:03-3661-9514

大阪マーケティング本部 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-3-11 淀屋橋フレックスタワー  
TEL:06-6228-2020(代) FAX:06-6228-2030

名古屋支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-24 名古屋桜通ビル  
TEL:052-684-9250(代) FAX:052-961-4811

中聯富士経済咨询有限公司 100025 中国北京市朝陽区建国路89号 華貿中心4号楼  
TEL:86-10-6530-7164 FAX:86-10-6530-7264

---

日本語・外国語を問わず、いかなる形式でも本書の一部もしくは全部の複製、無断での転載・複写をお断りいたします。  
©2020 Fuji Keizai Co.,Ltd.